

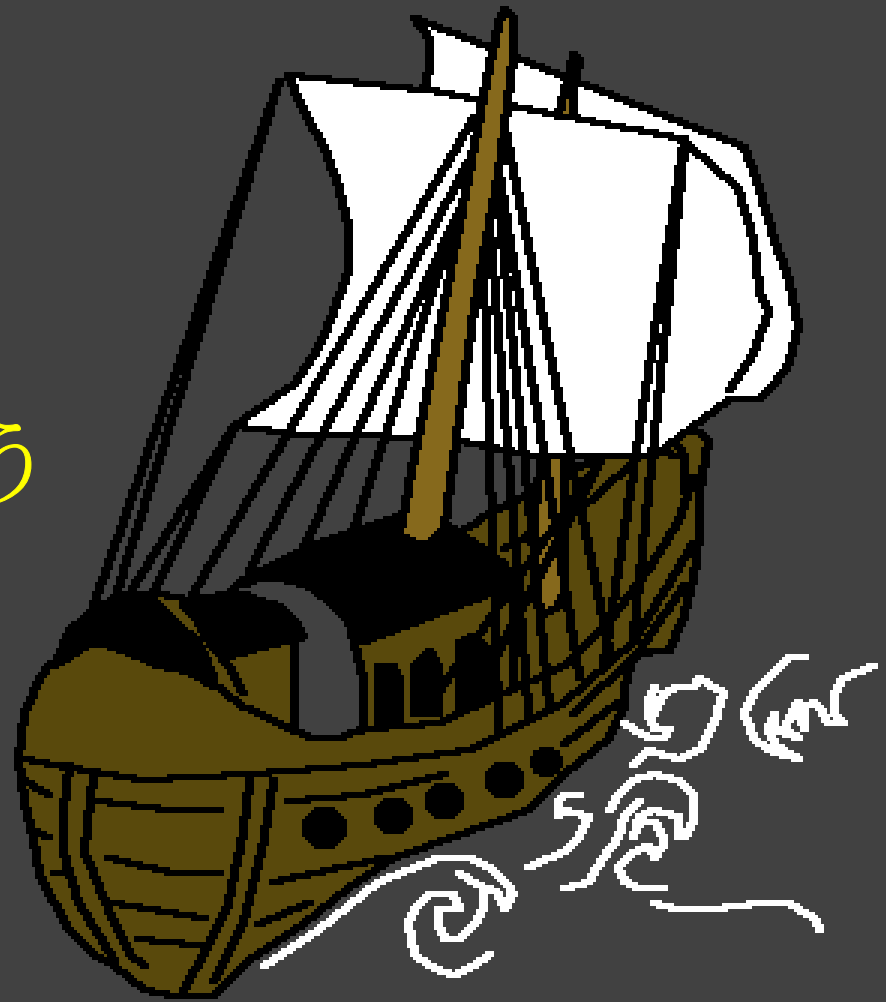
こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

パウロの  
びっくりするよう  
なたび



<sup>ぶん</sup>  
文: E. Duncan Hughes

<sup>え</sup>  
絵: Janie Forest

<sup>かいさくしゃ</sup>  
改作者: Ruth Klassen

<sup>ほんやくしゃ</sup>  
翻訳者: Yuko Kajiki

<sup>しゅつばんしゃ</sup>  
出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2010 Bible for Children, Inc.

<sup>きよか</sup> <sup>たにん</sup> <sup>う</sup> <sup>かぎ</sup> <sup>はなし</sup> <sup>また</sup>  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、  
<sup>きよか</sup>  
許可されています。



パウロとシラスは、イエスさまの申し。

なか  
ろうやの中にいますね。なにか、  
わるいことをしたのかな。いいえ、  
なにひとつ、わるいことをしていません。

ふたり おんな ひと なか あぐれい  
二人は、女の人の中にいた悪霊をお  
だ ぞう  
い出したのです。そして、ぐう像を

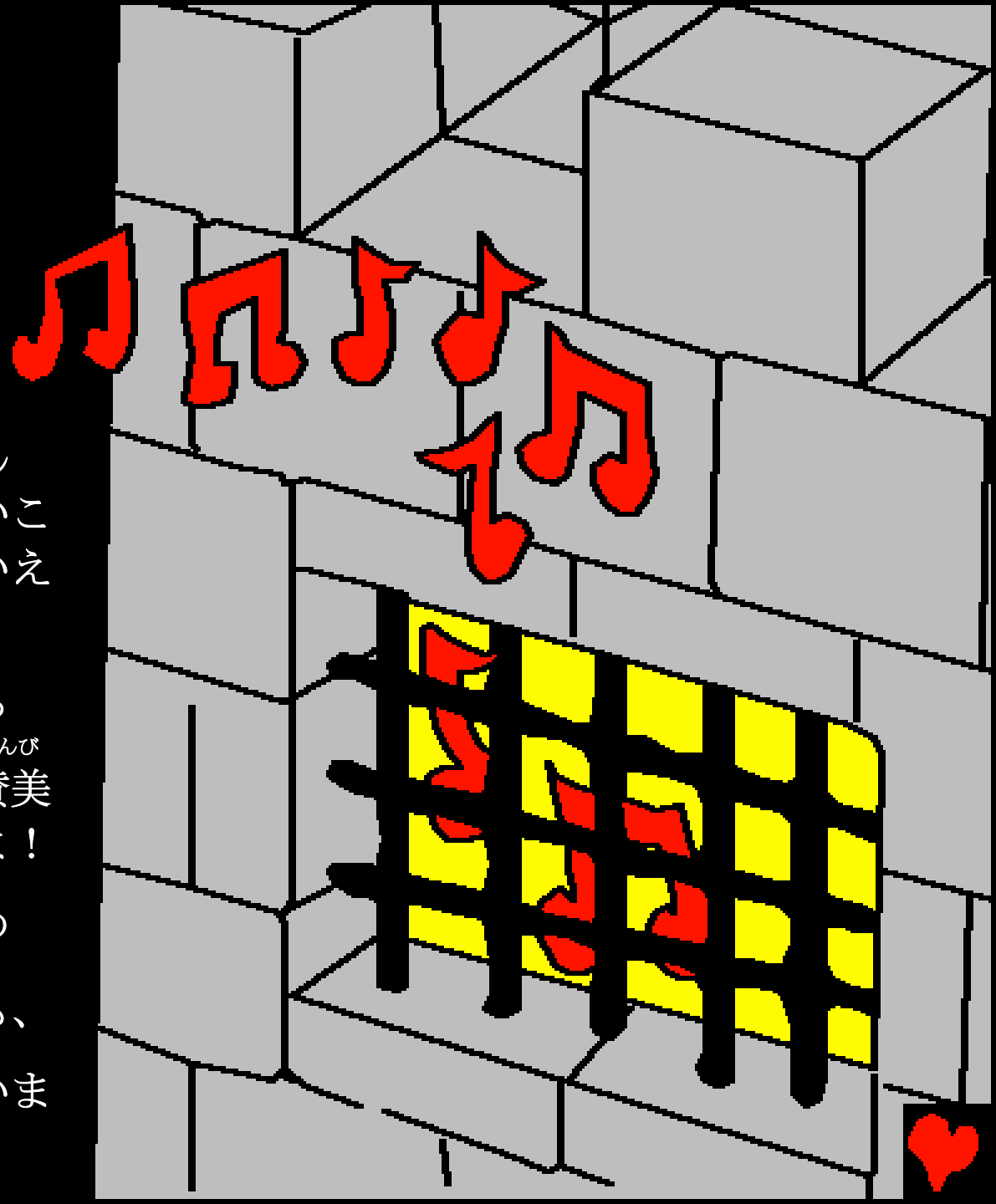
れいはい ひとびと  
礼拝しているエフェソの人々に、  
かみ こ  
ほんとうの神さまと、み子イエス

ちから  
さまの力を見せました。

でも、そのた

ふたり  
めに二人は、  
つかまってし  
まいました。  
むちでうたれ、  
ろうやにとじこ  
められています。





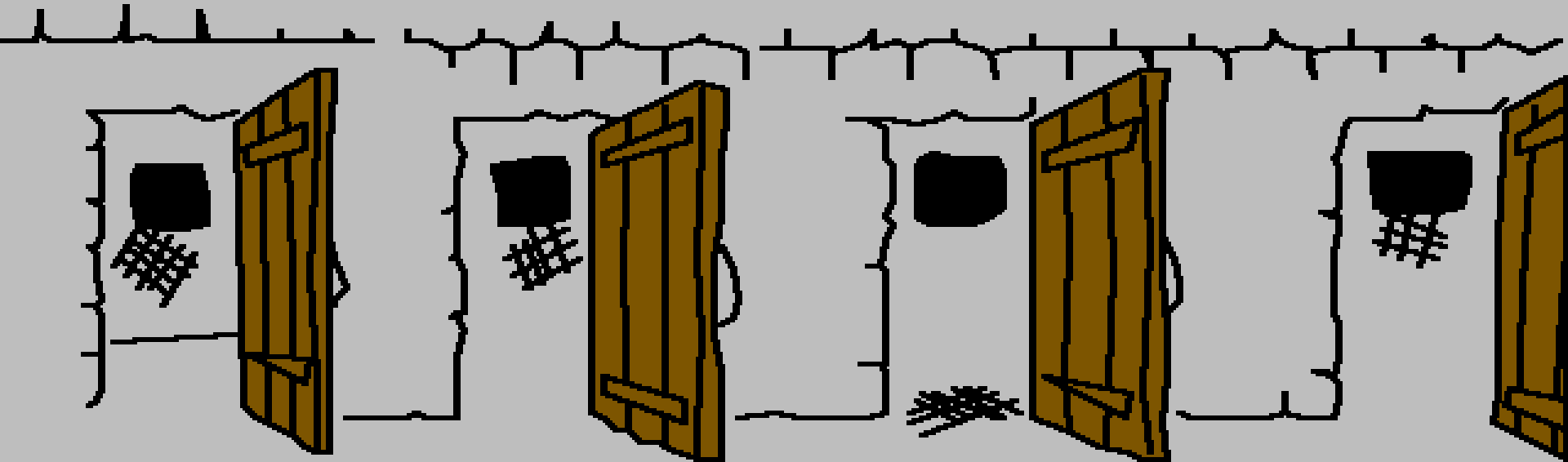
みなさんは、ひょっとして、  
おも  
こう思っているかもしれません  
ね。パウロとシラスは、ひどいこ  
とをされておこっていると。いえ  
いえ、そうじゃありません。

じつは、二人は、ふたり ま夜中もずっ  
よなか  
と、おきたまま。かみ 神さまへのさんび 賛美  
のうたをうたっていたのですよ！

い  
ろうやに入れられているほかの  
しゅうじん 囚人も、み ろうやの見はりばんも、  
さんび  
みんな賛美のうたを、きいていま  
すね。



とつぜん、うたがやみました。あっ、じしんです。<sup>かみ</sup>神さまが、じしんをおこされて、ろうやをゆさぶりました。ろうやの入り口が、みんなひらいてしまっていますね。そして、<sup>しゅうじん</sup>囚人たちのくさりも、みんなはずれています。





うわあ、どうしよう！見はりばんは、おもいました。  
このさわぎで、ろうやに入れられた人は、みんなに  
げてしまったにちがいない。もし、一人でも  
にがしてしまうと、見はりばんは、  
死のぼつをうけるでしょう。かわ  
いそうな見はりばん。かれは、  
じぶんの刀をぬきました。  
じぶんで死んだほうがいい。  
それで、なにもかも、おしま  
いにしまおうと、おも  
いました。



けれども、そのときパウロが、大<sup>おお</sup>ごえ  
でさげびました。「やめなさい、じぶん

で死んではいけない。わたしたちは、  
みんなここにいる。」えっ、ほんとう  
だろうか。かれらが、そこにいると

わかつた見はりばんは、言いました。

「先生、すぐわれるには、どうしな  
ければいけないのでしょうか。」

そこで、かれらはこたえました。

「主なるイエスキリストを、信  
じなさい。そうすれば、すぐわ  
れるでしょう。あなたもあなた  
のかぞくも、すぐわれるのです。」

こたえをきいた見はりばんは、

大<sup>おお</sup>よろこび。すぐに信  
じましたよ。





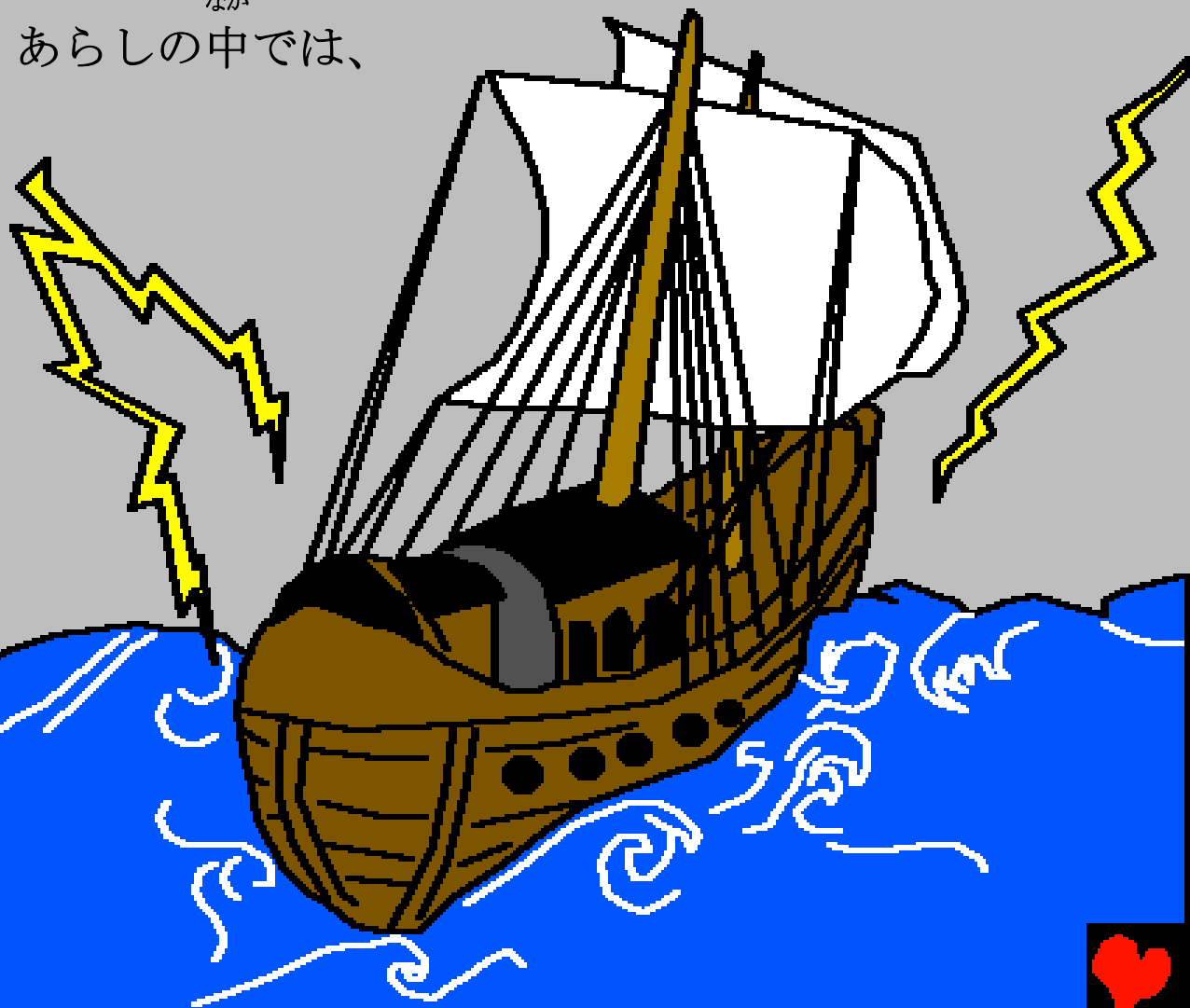
さて、つぎの日です。ろうやから出たパウロとシラスは、いろいろな町を、たびして回り、イエスさまのことを人々につたえました。ある人たちは、イエスさまを信じ、また、ある人たちは、二人のじゃまをしようと思いました。けれども、神さまは、しもべたちのそばに、いつもいてくださいます。ある夜、パウロは、なんじかんも神さまについておしえていました。一人のわかい男が、あいているまどにすわって、はなしをきいていますね。あれっ、すっかりねむってしまったようです。あっ、あぶない、おちそうですよ。みなさん、その人がどうなったか、そうぞうできますか。

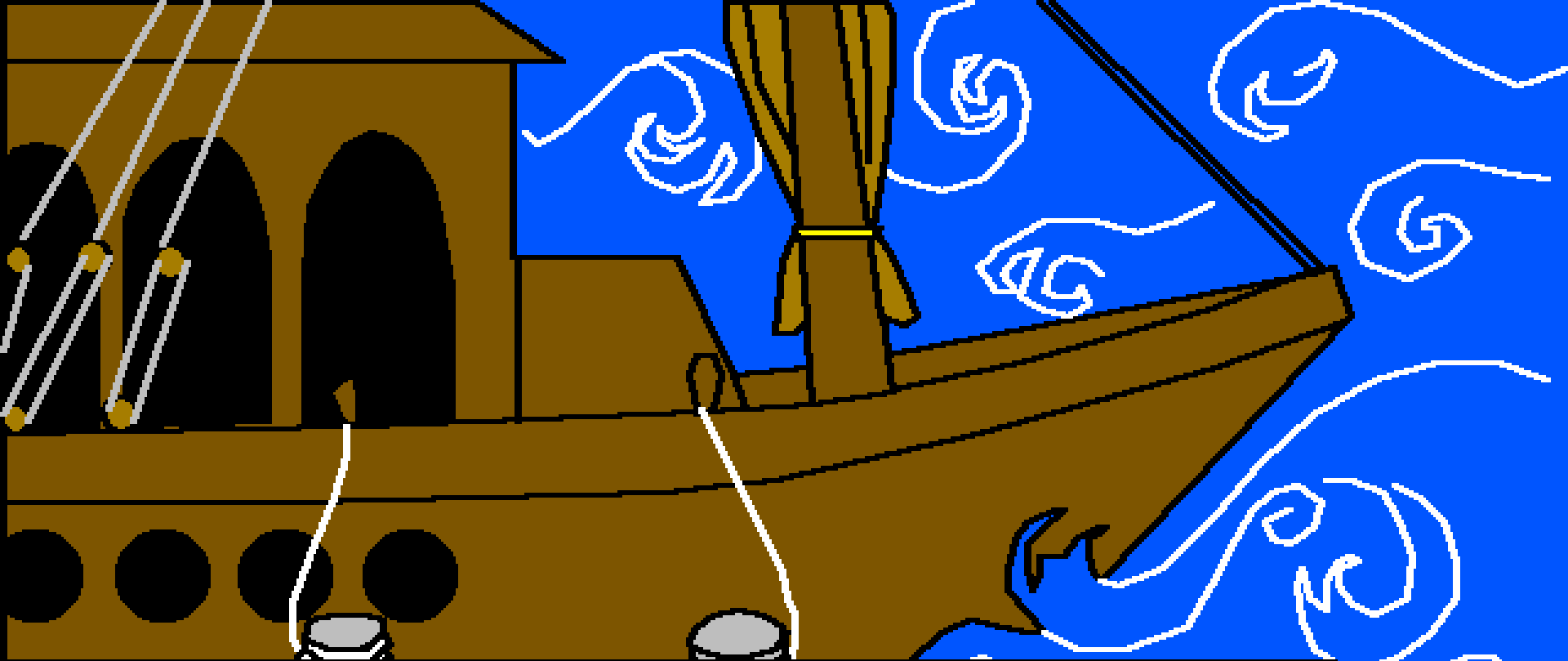


ああ、かわいそうに。みんなは、  
そのわかものは、死<sup>し</sup>んでしまった  
ことが、わかりました。けれど  
も、パウロはどうしたでしょう。  
お<sup>お</sup>い<sup>い</sup>下りて行き、わかものをだきよ  
せ、言<sup>い</sup>いました。「かれは、生き  
て<sup>い</sup>いる。」そのとき、人々は、  
そのわかものが生きかえったとわ  
かったのです。みんな、よろこび  
でいっぱいです。



ヨーロッパをたびしながら、パウロとシラスは、たくさんのぼうけんをしまし  
た。パウロの <sup>ひと</sup>すばらしいぼうけんの一つを、おはなししましょう。パウロが、  
<sup>ふね</sup>船にのっているときです。その船は、<sup>ふね</sup>がんじょうで大きいものではなく、帆を  
<sup>ちい</sup>はっただけの小さいもの。あらしの中では、  
<sup>あ</sup>上がったたり<sup>さ</sup>下がったり、  
はげしくゆれますよ。





ふね

パウロは、その船にのっていました。なぜなら、また、つかまえられて  
しまったからです。かれは、ローマの皇ていのところへ、いかなければな  
りません。ローマは、そのころ国々の中心の町でした。はげしいかぜがふき、  
船はのろのろ。あっ、止まってしまいましたね。あらしがやってきそうです。  
パウロも、ほかの囚人たちも、船ではたらく人たちもみんな、そのたびは、  
ほんとうにたいへんでした。



「みんな、きいてください。船は、このひどいあらしで、だめになってしまおうでしょう。」パウロは、みんなにつよく言いました。でも、船長は、パウロの言うことなどききません。そのまま海をすすんでいきます。ものすごく大きいあらしが、おそってきました。うわあ、たいへんだ。みんなは、船をそこからロープでまき、しっかりくくりつけました。これで、船がバラバラになりませんように。もし、船がこわれてしまったら、みんな、海のなかで、死んでしまいます。



ふね　　うえ　　した　　みぎ　　ひだり

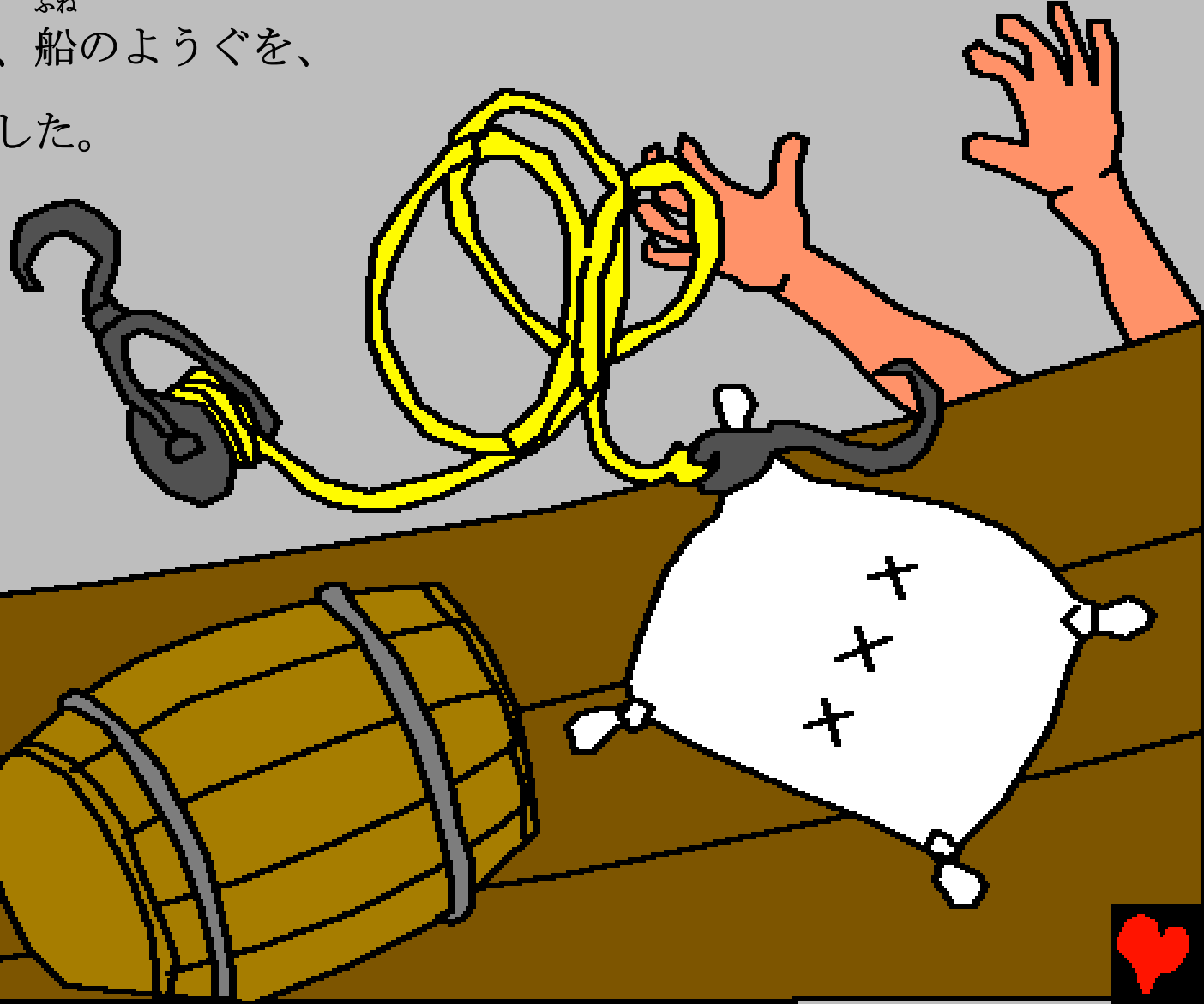
船は、上や下に、右や左にぐらぐら。あまりはげしくゆれうごくので、

せんちょう　　めい　　ふね  
船長は、みんなに命れいしました。「船を、かるくするんだ。」

みつか　　ふね  
三日めに、みんなは、船のようぐを、

うみ  
海にすててしまいました。

もしかして、  
これでうまくいく  
かもしれませぬね。



よる　　てんし　　た  
夜のあいだ、天使がパウロのそばに立って、つたえました。「だいじょうぶ。  
すべてうまくいきます。」そして、パウロが、みんなにつぎのように言ったと

き、みんなはゆう気がわいてきました。「さあ、みんな、

げんき　　かみ　　しん  
元気をだして。わたしは、神さまを信じています。

かみ　　い  
神さまの言われたようになるのです。しかし、

わたしたちは、　　しま　　あ  
かならずある島にうち上げ  
られるはずです。」



なん日か、たちました。船はマルタ島のちかくを、なが  
されていったかと思うと、ドシン。水のあさいごつごつ  
した岩にぶつかり、ばらばらになってしまいました。  
船長は、めいれいしました。「さあ、およげる者が、  
はじめに海にとびこんで、りくに上がれ。のこりの  
者も、うまくにげろ。板きれにのったり、こわれ  
た船のはしにつかまったりするんだ。」



ここはマルタ島。神さまは、ここで神の力をみせられました。あたたまろうと、みんながたき火をしているときです。まむしが、パウロにかみついたのです。

うわあ、たいへんだ。きっと死んでしまうだろう。人々は、そうおもいました。でも、パウロは、ぴんぴんしていますね。まむしのどくなど、へっちやら。

そこで、島の人々は、パウロは神さまだと

おもってしまいました。びょう気の人が、つぎつぎパウロのところにやってき

ました。パウロが祈ると、

神さまは祈りにこたえてく

ださり、人々をすっかりな

おしてくださ  
いました。



とうとう、パウロは、ローマにつきましたね。でも、パウロのさいばんがはじまるまで、それから2ねんいじょうも、かかったのです。そのあいだ、パウロはいえをかりて、たずねてくる人<sup>ひと</sup>たちを、よろこんで出むかえました。さて、みなさん、パウロはその人<sup>ひと</sup>たちに、なにについてはなしたか、わかりますか。

もちろん神のみ<sup>かみ</sup>国<sup>くに</sup>！主なるイエスキリストです！パウロは、ローマでも、ほかのどんなところでも、いつでも神さまのよきしもべですね。



「わたしは、たたか<sup>はし</sup>いを、りっぱ<sup>しん</sup>にたたか<sup>か</sup>ってきました。わたしは、そのみち<sup>せいしょ</sup>を、走りとおしました。そして、信<sup>いっしょう</sup>こうを、まもりつづけました。」パウロは、ローマから、でし<sup>か</sup>にこのてがみ<sup>ごう</sup>を書きました。聖書には、パウロの一生が、どのよう<sup>ごう</sup>におわったか書いてありません。けれども、ほかのきろくに、パウロは、皇<sup>くび</sup>ていネロのめいれいで、ローマで首<sup>き</sup>を切られたと書いてあります。いつも、つよ

い信<sup>しん</sup>こうをもっていた神さまの<sup>かみ</sup>

しもべパウロは、生きてい

たときと同じように、

死<sup>し</sup>んでいきました。

人々にイエスキリス<sup>ひとびと</sup>トについて、はなし

つづけた人<sup>ひと</sup>でしたね。



# パウロの びっくりするよなたび

かみ み せいしょ する  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しと しょう しょう  
使徒のはたらき 16 章、27-28 章、  
てがみ に しょう  
テモテへの手紙二 4 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま  
は、罪つみとよばれています。その罪つみのむくいは、死しです。

かみ わたし かみ  
けれども、神さまは、あなたをとも愛あいしていらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく  
の世よに送おくってくださいました。そしてあなたの罪つみのために、十字架じゅうじかじょう上で亡なくなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国てんごくのいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま  
は、今、あなたの所ところへ来きて、あなたのこころなかの中に住すんでくださいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしょいに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて  
わたし なか き つみ わたし いま  
いらっしゃいます。どうか、私のこころなかの中なかに來きて、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
らしい命いのちをいただけます。そして、いつか、あなたの所ところへ行き、いつまでもあなたといっしょいにいる  
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子ことして生きることができますよう、たす  
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

